

2024年12月17日（火）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive
大阪市高速電気軌道株式会社

SkyDrive と Osaka Metro がポスト万博に向けて空飛ぶクルマの 大阪ダイヤモンドルート構想を発表

「空飛ぶクルマ」（※1）の開発およびドローン関連サービスを提供する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 河井英明、以下「Osaka Metro」）と大阪・関西万博後の空飛ぶクルマの社会実装を見据え、市場調査等の結果を踏まえて「新大阪・梅田」「森之宮」「天王寺・阿倍野」「ベイエリア」の4つのエリアを重要エリアとして選定し、それぞれを結んだ「大阪ダイヤモンドルート構想」として、2024年12月17日（火）に「大阪ラウンドテーブル（※2）」で発表しました。まずは、2028年を目途に森之宮エリアでのサービスを開始し、2030年以降に向けて、サービスを順次拡大することを目指し検討していきます。



SkyDrive と Osaka Metro によるポスト万博の「大阪ダイヤモンドルート構想」

イメージ動画：<https://www.youtube.com/watch?v=6dD8PA1NISg>

■背景・経緯

SkyDrive は「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、軽量で3人乗りの空飛ぶクルマを開発しています。

Osaka Metro は、地下鉄およびニュートラムを9路線運営しており、大阪を各段に便利で快適なまちにしていくことを目的に都市型 MaaS 構想「e METRO」を推進しています。パーソナルな移動を実現するための新たな選択肢として空飛ぶクルマも視野に入れていきます。

両社は空飛ぶクルマの社会実装を目指し、2025年大阪・関西万博後の大阪エリアでの空飛ぶクルマを用いた事業化に向けた検討を行うことを目的に、2024年8月に業務提携契約を締結しました（※3）。その後、Osaka Metro は2024年10月に「空飛ぶクルマ推進室」を社長直下で設置し、両社はニーズ調査や離着陸場候補地等に関する検討を重ね、4つのエリアを選定し、この度、「大阪ダイヤモンドルート構想」として発表するに至りました。

■空から楽しむ新しい観光体験

4つのエリアは、大阪の美しい景観を楽しむことができるポイントや、主要観光地へのアクセスがスムーズになる場所を設定しています。空飛ぶクルマを利用することで、パーソナルな空間で空からの眺めを楽しむことができ、移動時間そのものが特別な体験となります。

■今後について

SkyDrive と Osaka Metro は、本ルート構想の実現に向け、国や大阪府市、関係機関、事業パートナーと協議・連携を深め、離着陸場設置場所の確定など、必要な検討を進めるとともに、大阪近郊、関西エリアへの展開を段階的に図り、空の移動という新たな価値を創造し、地域の魅力向上に貢献していきます。

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和6年4月付）<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001739488.pdf>

※2 大阪ラウンドテーブルとは：「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」が正式名で、2025年大阪・関西万博をひとつのマイルストーンとして、関係者間で精力的に協議や実証実験を重ね、国の官民協議会の議論に資する具体的な提案を行うほか、様々なステークホルダーと連携して、社会受容性の向上を図るなど、空飛ぶクルマの実現に向けた取組みを加速させていくことを期して、具体的かつ実践的な協議・活動の核となるものとして設立されました。

引用元：大阪府 HP<https://www.pref.osaka.lg.jp/o110020/energy/evtol/index.html>

※3 Osaka Metro との業務提携に関するプレスリリース：<https://skydrive2020.com/archives/45789>

≪株式会社 SkyDrive 概要≫

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F 東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F
子会社	株式会社 Sky Works：静岡県磐田市 SkyDrive America, Inc.：500 Carteret Street, Suite D, Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.
事業内容	「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立し、豊田市を主拠点到に「空飛ぶクルマ」の開発、「ドローンサービス」の提供をしています。 「空飛ぶクルマ」の開発においては、2020年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。 「空飛ぶクルマ」は、現在3人乗りの機体を開発中、製造パートナーであるスズキ株式会社と共に、2024年3月よりスズキグループの工場にて製造を開始しました。早ければ2026年に型式証明の取得を目指しております。

≪大阪市高速電気軌道株式会社 概要≫

設立	2018年4月1日
代表者	代表取締役社長 河井英明
URL	https://www.osakametro.co.jp/
所在地	大阪府大阪市西区九条南 1-12-62
事業内容	2018年4月に株式会社として新たなスタートを切り、大阪都心部を網の目状に走る9路線137.8kmの地下鉄ネットワークを運営し、社会生活インフラとしての重要な役割を果たしています。安全・安心・快適にご利用いただける「交通インフラ」として、また、皆さまの生活を支える「社会生活インフラ」としての基本的な使命に加えて、多様な人々が出会い、新たな価値を創

	造し合う「活カインフラ」としての役割をも果たし、国際都市「大阪」のさらなる発展に貢献したいという想いを企業理念に込め、「交通を核にした生活まちづくり企業」へ変革すべく、事業活動を進めています。
--	--

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫

広報担当 大石：070-2246-8375

広報責任者 宮内：090-7226-6704

Email: info@skydrive.co.jp

<https://skydrive2020.com/contact>

≪大阪市高速電気軌道株式会社≫

広報戦略課 06-6585-6112